

未来をつくるのは、ひとの力だ

Human Associates

2022年3月期第1四半期 決算説明資料

2021年8月13日

ヒューマン・アソシエイツ・ホールディングス株式会社

東証マザーズ（6575）

目次

1. 2022年3月期 第1四半期決算報告 p. 3

- ・ 連結PL概況
- ・ 連結BS概況

2. 2022年3月期 第1四半期セグメント別概況 p. 6

- ・ セグメント別PL概況
- ・ EAP事業 ①業績推移 ②今後の展開
- ・ 人材育成事業 ①業績推移 ②今後の展開
- ・ 人材紹介事業 ①業績推移 ②今後の展開

3. 参考資料 p. 14

- ・ 会社概要
- ・ ヒューマン・アソシエイツグループ沿革
- ・ ヒューマン・アソシエイツグループの事業領域
- ・ SDGs への取り組み

1. 2022年3月期 第1四半期決算報告

- 連結PL概況
- 連結BS概況

1. 2022年3月期 第1四半期決算報告

連結PL概況

■ 対前年比で増収増益

■ オンラインによるサービス提供の推進により、コロナ禍における多様化する顧客ニーズに対応

(単位：百万円)	2021年3月期 第1Q	2022年3月期 第1Q	前年同期比	
	実績	実績	増減差異	増減比率 (%)
売上高	477	592	+115	+24.2
売上総利益	393	473	+79	+20.3
販管費	522	507	△14	△2.9
営業利益	△128	△33	+94	—
営業利益率 (%)	△27.0	△5.7	+21.3pt	—
経常利益	△126	△42	+83	—
四半期純利益	△83	△33	+49	—

1. 2022年3月期 第1四半期決算報告

連結BS概況

■ 自己資本比率 41.7%

■ 流動比率 152.7%

(単位：百万円)	2021年3月31日	2021年6月30日	増減額
流動資産	1,318	1,295	△ 22
のれん	177	171	△ 5
無形資産	443	435	△ 7
その他	542	530	△ 11
固定資産	1,163	1,138	△ 25
資産 合計	2,481	2,434	△ 47
流動負債	818	848	30
固定負債	596	555	△ 40
負債 合計	1,414	1,404	△ 10
資本金	176	176	0
資本剰余金	367	367	0
利益剰余金	512	472	△ 39
その他	11	13	1
純資産 合計	1,067	1,029	△ 37

2. 2022年3月期 第1四半期セグメント別概況

- セグメント別PL概況
- EAP事業 ①業績推移 ②今後の展開
- 人材育成事業 ①業績推移 ②今後の展開
- 人材紹介事業 ①業績推移 ②今後の展開

2. 2022年3月期 第1四半期セグメント別概況 セグメント別PL概況

■ 全事業、対前年比で大幅に増収 +115百万円 (+24.2%)

→ 人材育成事業が大幅な増収

■ 連結営業利益も大幅に増益 +94百万円 (事業部門合計では黒字転換)

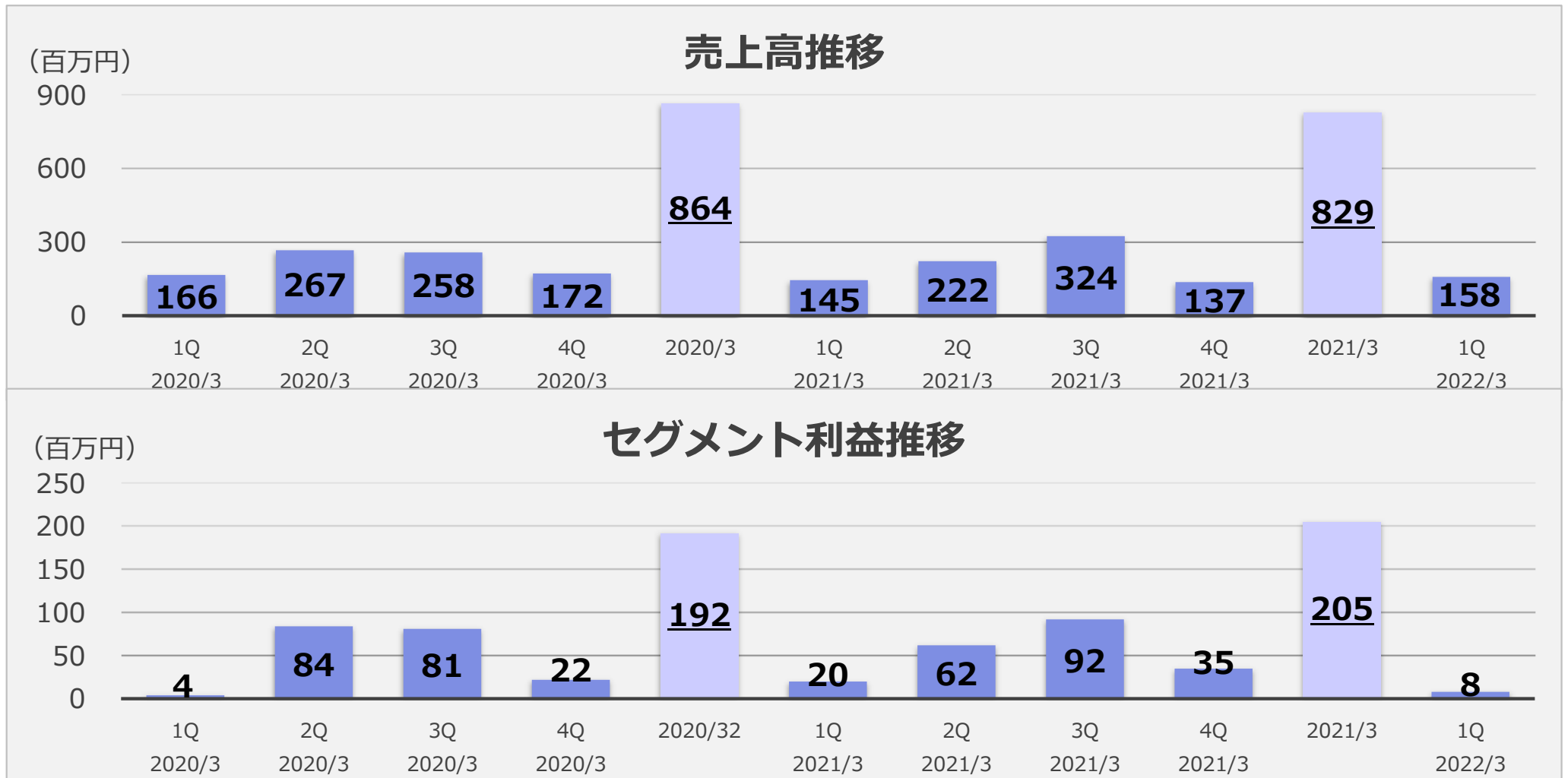
→ 全社費用の吸収まで至らず営業赤字

(単位：百万円)

		2021年3月期 第1Q	2022年3月期 第1Q	増減差異	増減比率 (%)
売上高	EAP	145	158	+12	+8.9
	人材育成	82	146	+64	+78.3
	人材紹介	249	287	+38	+15.3
	売上高 計	477	592	+115	+24.2
営業利益	EAP	14	8	△6	△42.7
	人材育成	△72	△42	+30	-
	人材紹介	20	72	+52	+260.3
	(事業部門 計)	△38	38	+76	-
	全社部門	△90	△72	+18	-
	営業利益 計	△128	△33	+94	-
	営業利益率 (%)	△27.0	△5.7	+21.3pt	-

2. 2022年3月期 第1四半期セグメント別概況 EAP事業 ①業績推移

- オンラインによるサービス提供体制の一層の充実・新たなサービスの提供開始により増収
- 持続的成長のための投資（採用・システム等）により減益



2. 2022年3月期 第1四半期セグメント別概況 EAP事業 ②今後の展開

- メンタルヘルス対策の一次予防（不調者発生予防）、二次予防（早期発見・早期対応）、三次予防（職場復帰・再発防止）までをワンストップで提供
- キャリア開発支援の強化
→企業の『キャリア支援室』とともに、自律的キャリア開発・キャリアカウンセリングを推進
- 新商品「職業性レジリエンス」の測定・研修サービスをローンチ
→筑波大学の学術指導を受け、当社グループにて独自開発

ストレスを仕事のエネルギーに変えていきいき働く！

職業性レジリエンス向上研修

在宅勤務が増え、従業員ひとりひとりが、ストレスに柔軟に対応し、仕事へ前向きに取り組む力がさらに重要視されるようになりました。ヒューマン・フロンティア独自の概念「職業性レジリエンス」を向上させることで、ストレスに負けない、前向きに、いきいき働く力を身に着けることが可能です。

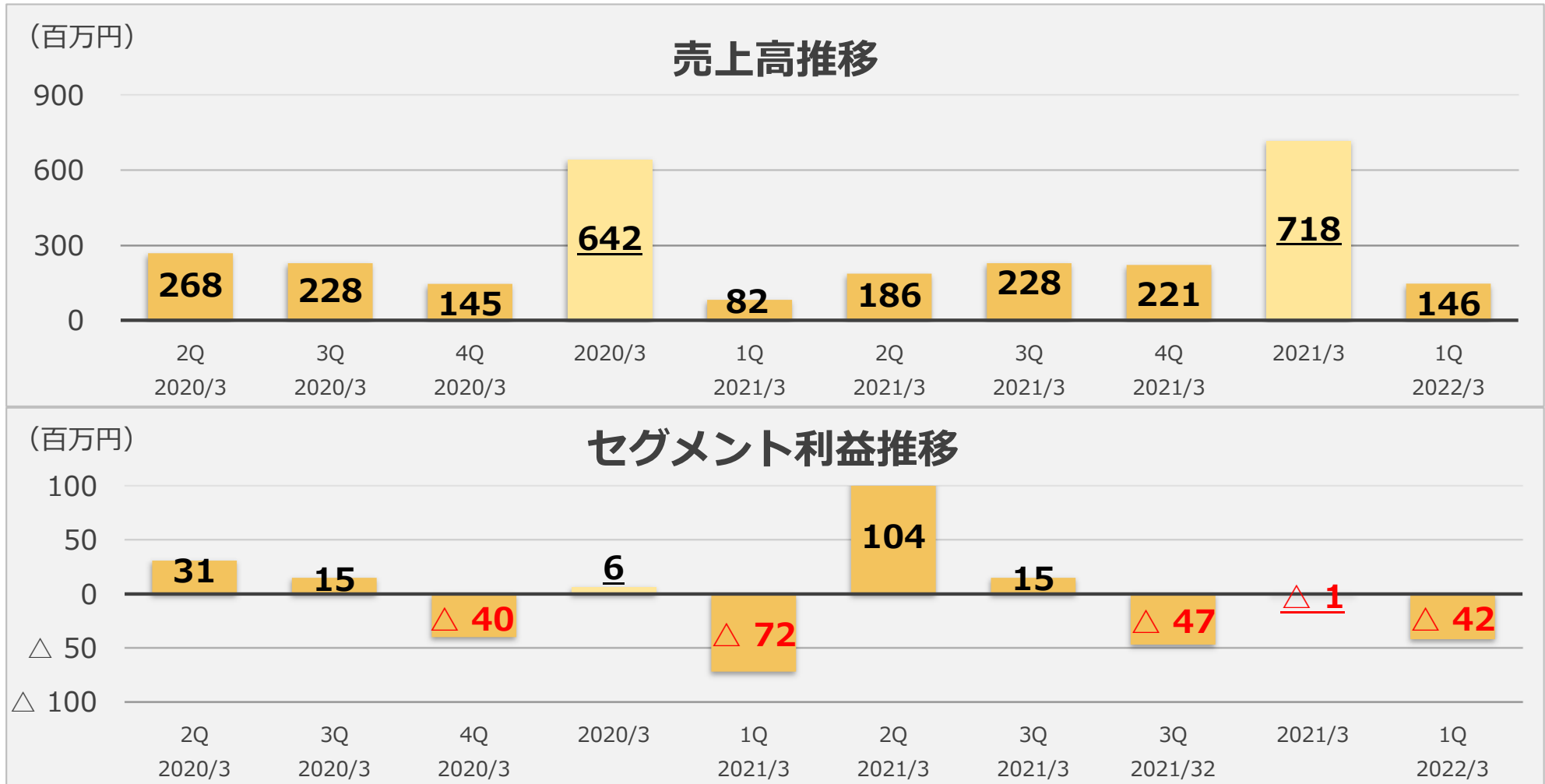
より健康に、より活力をもって働くために必要なスキルを身に着ける！

- ✓ ストレスに対する柔軟な対応力
- ✓ 仕事への積極性
- ✓ 難しい課題にもチャレンジする前向きさ
- ✓ ストレスを自分の活力に変える能力



2. 2022年3月期 第1四半期セグメント別概況 人材育成事業 ①業績推移

■ 増収増益ではあるが、企業の人材育成施策の遅れを受けて売上の伸びが弱く営業赤字

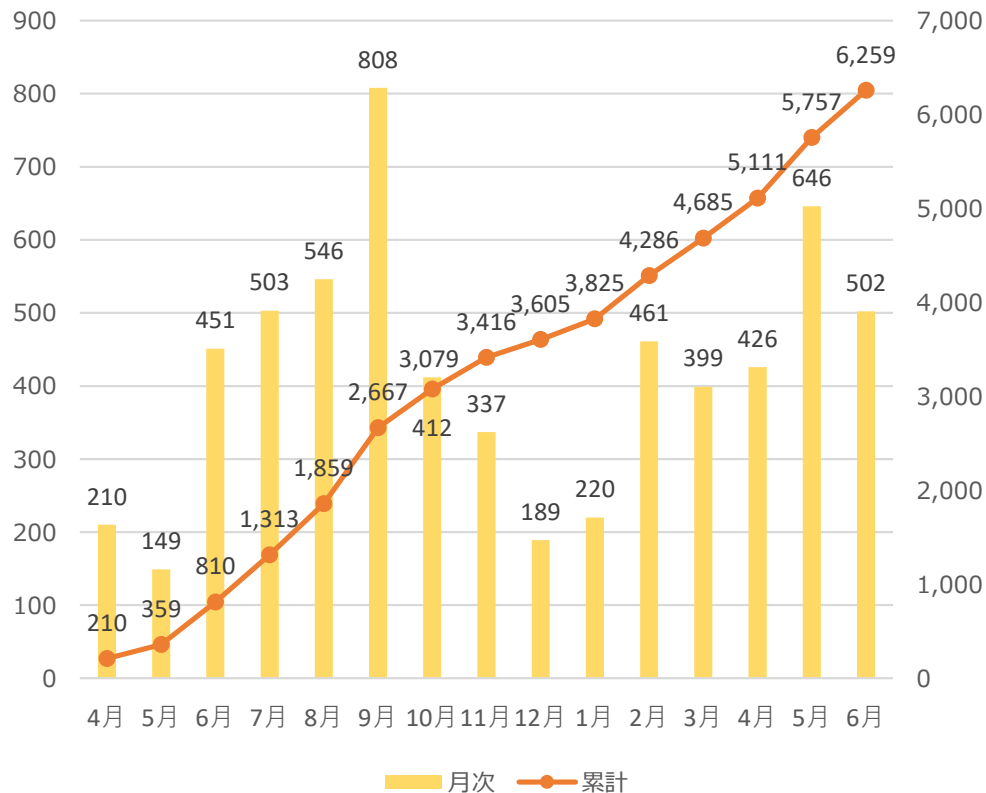


(注) 人材育成事業、サイコム・ブレインズ(株)は、2019年7月1日に簡易株式交換により完全子会社となったため、2020年3月期における人材育成事業の売上は第2四半期から(2019年7月1日から2020年3月31日まで)となります。

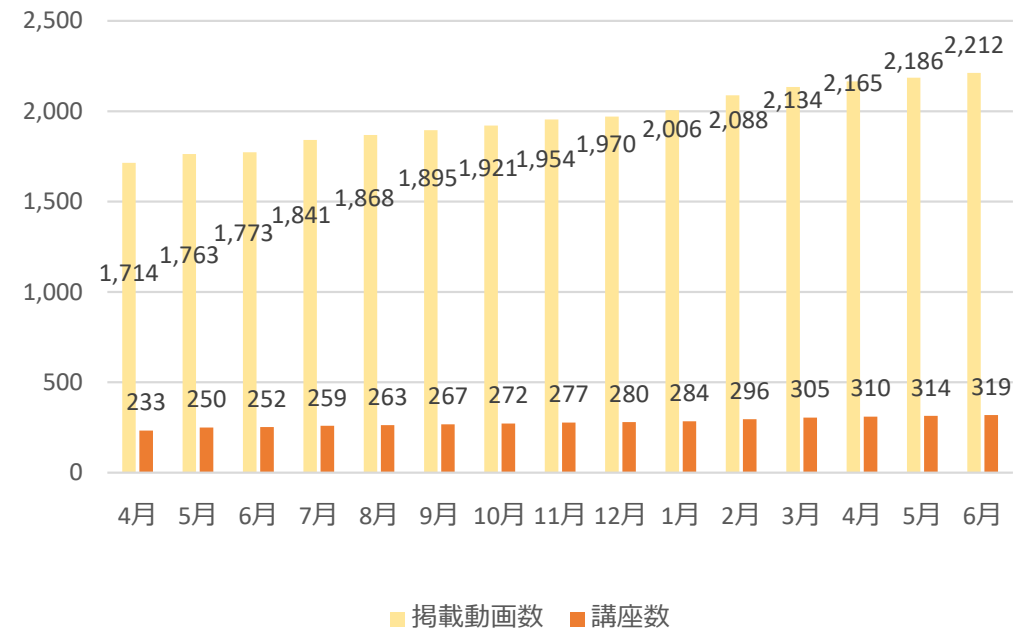
2. 2022年3月期 第1四半期セグメント別概況 人材育成事業 ②今後の展開

- グループ重点投資事業「ビジネスマスターズ®」への積極投資
- ビジネスマスターズ®のプラットフォーム機能の拡充
- 掲載動画数・講座数（コンテンツ）増加に対しても積極的な投資を予定

ビジネスマスターズ受講者数 推移

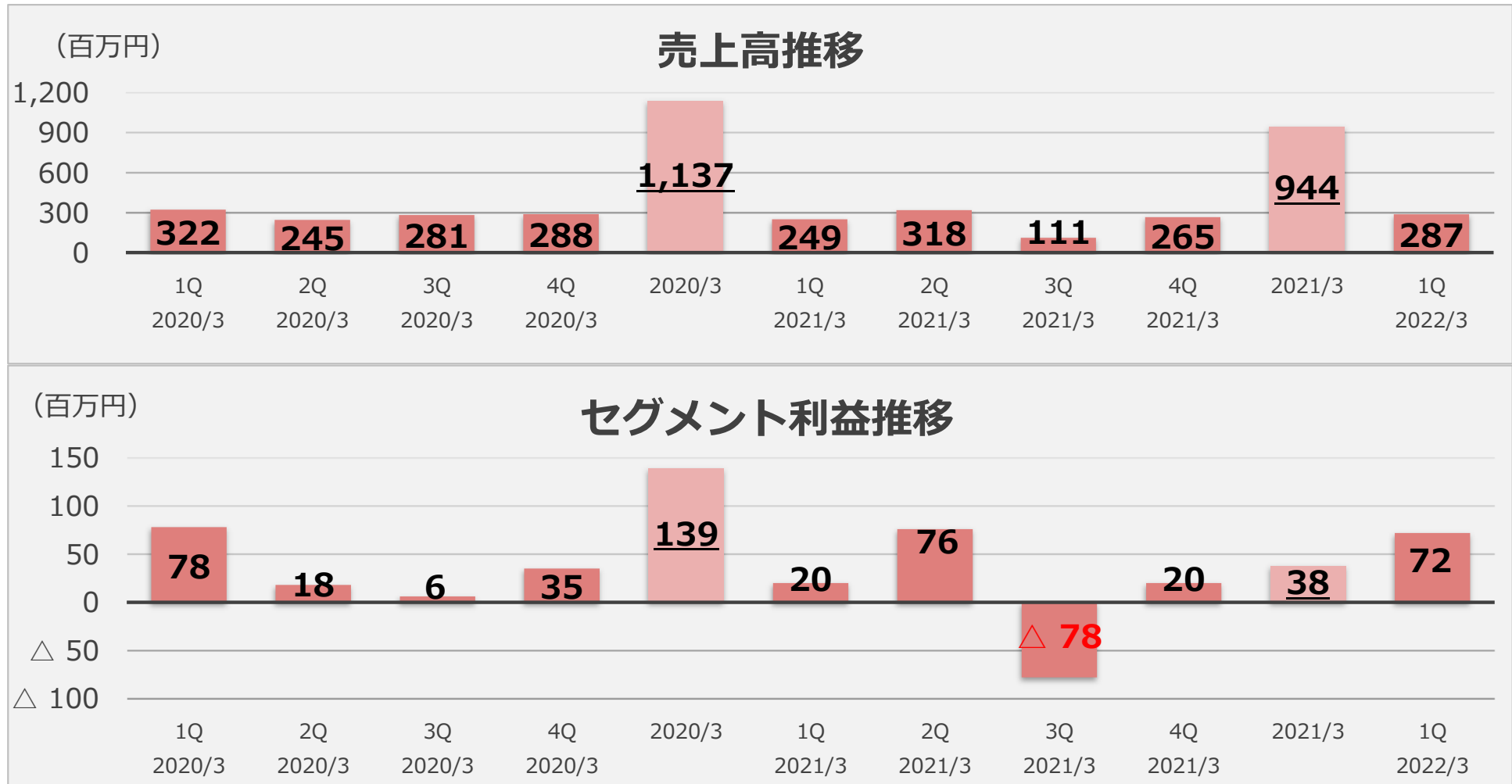


ビジネスマスターズ掲載動画・ 講座数累計推移



2. 2022年3月期 第1四半期セグメント別概況 人材紹介事業 ①業績推移

- 経営・グローバル人材等に注力したことにより増収増益
- コスト削減の効果により、営業利益率は大幅に改善
昨年度1Q：8.0% → 今年度1Q：25.1%



2. 2022年3月期 第1四半期セグメント別概況 人材紹介事業 ②今後の展開

- グローバル人材紹介の強化を図るためOptia事業部のHPリニューアル予定
- 安定的収益を実現するための、新たなビジネスモデルの模索
→ RPO（採用代行）サービスの提供開始
- グループ全体の顧客データの相乗的活用（DX推進）による、顧客数の拡大



データの相乗的活用により以下施策を実施

- 顧客数の拡大
- 人材ポートフォリオ構築支援サービス
- 採用実行（採用代行）サービス

3. 参考資料

- 会社概要
- ヒューマン・アソシエイツグループ沿革
- ヒューマン・アソシエイツグループの事業領域
- SDGs への取り組み

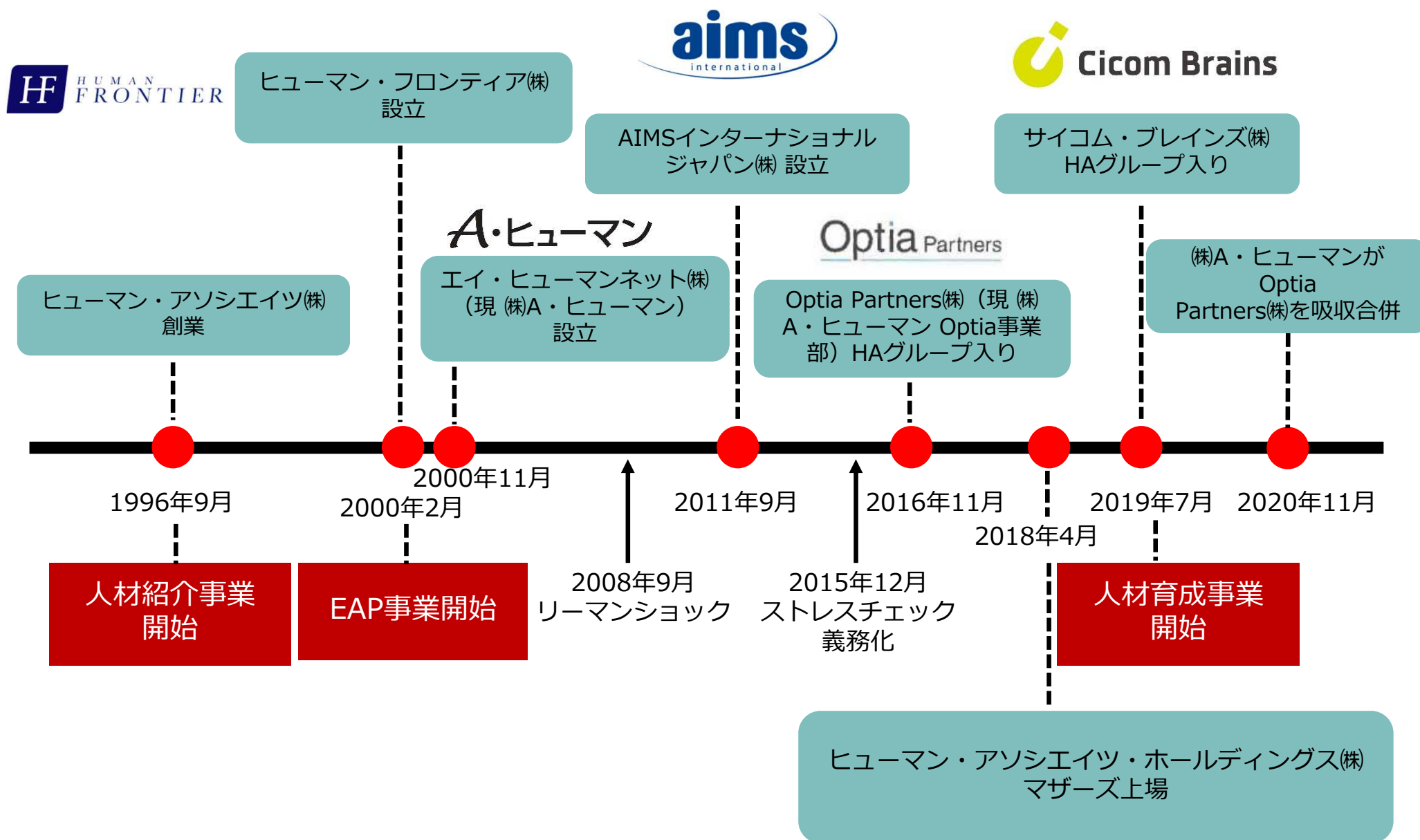
3. 参考資料 会社概要

ヒューマン・アソシエイツ・ホールディングス株式会社

設立	1990年3月（創業は1996年9月）
資本金	176百万円（2021年6月末現在）
代表者	代表取締役社長 渡部昭彦
住所	東京都港区南青山1-3-3 青山一丁目タワー4階
従業員数	160名（2021年6月末現在） その他カウンセラー 87名（2021年6月末現在）
事業内容	EAP事業、人材育成事業及び人材紹介事業を行う子会社及びグループ会社の経営管理並びにこれらに付帯する業務

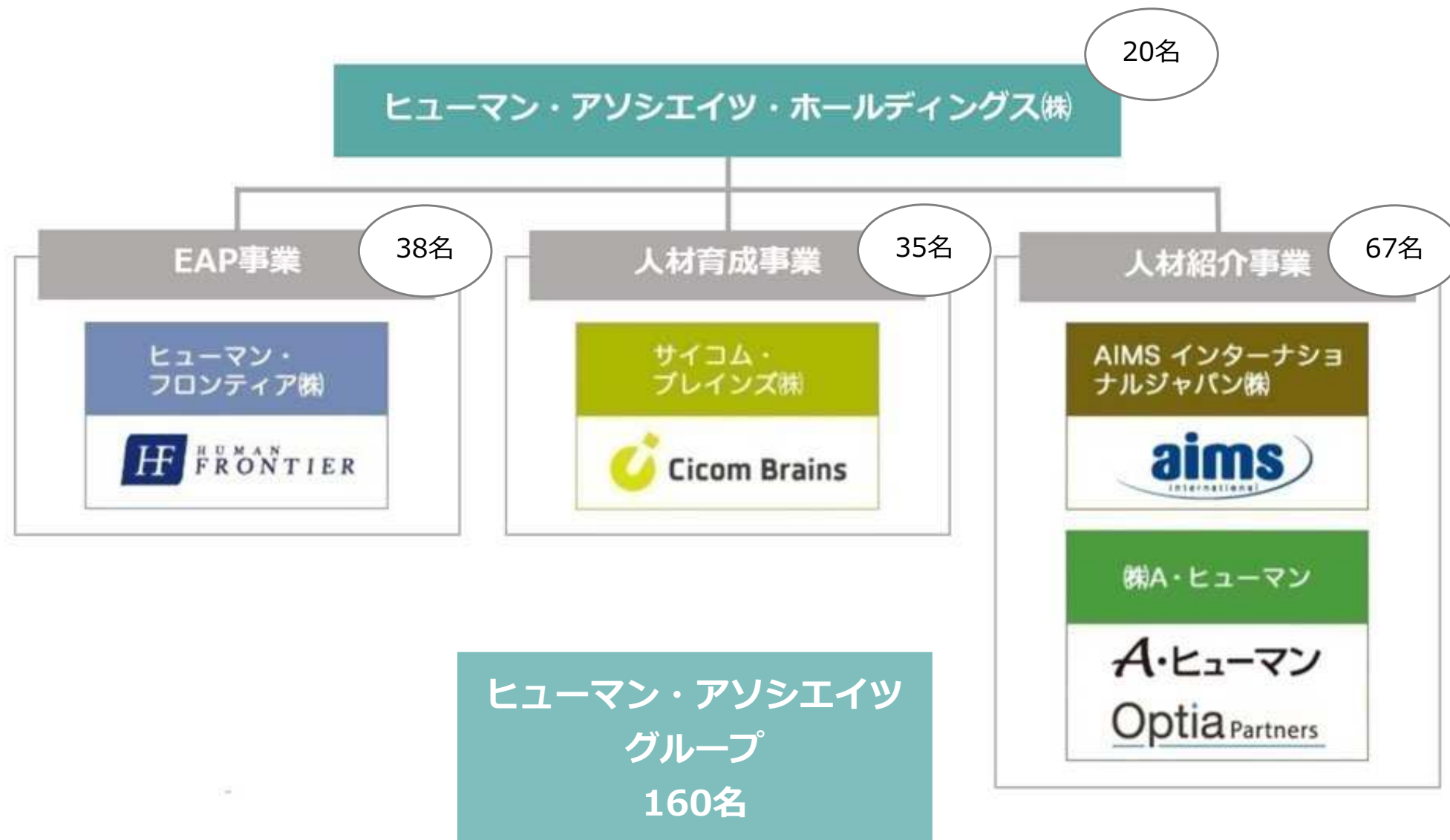
3. 参考資料

ヒューマン・アソシエイツグループ沿革



3. 参考資料

ヒューマン・アソシエイツグループの事業領域



(2021年6月末現在)

3. 参考資料

SDGs への取り組み

実行項目	関連するSDGs
<p>寄付/活動支援 未来をつくる子供たちと世界遺産の保護のために活動されている皆さまをサポート</p>	  
<p>職場内禁煙 受動喫煙防止のため、オフィス内は禁煙</p>	
<p>メンタルヘルスケア カウンセリングによる個人の問題解決を支援</p>	
<p>ビジネス研修/eラーニング・映像学習の提供 組織の生産性向上につながる様々なサービスを提供</p>	  
<p>人材紹介 ハイレベルな人材サービスにより適材適所の実現をサポート</p>	
<p>従業員のスキルアップ支援 グループ社員に対して、業務関連セミナーへの参加を促しサイコム・ブレインズ社のeラーニングを一部無料で利用可能に</p>	  
<p>リサイクル 機密書類は環境に優しい溶解処理でリサイクル</p>	
<p>森林保全 Business ReportはFSC認証紙を利用して作成</p>	 

未来をつくるのは、ひとの力だ

Human Associates

ご留意事項

- 本資料は、ヒューマン・アソシエイツ・ホールディングス株式会社（以下、当社）の業界動向及び事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- 当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- 本資料における将来展望に関する表明は、現時点において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。